

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 019	提案機関名 普及指導部作物加工課
要望問題名 水稲疎植栽培における「はるみ」の技術マニュアル作成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 現在の水稲栽培は、米価の下落による生産者所得の低下や高齢化による担い手不足等、多く課題を抱えている。また、コスト・労働時間を低減し、収量は慣行栽培並みとしながら、食味向上についての技術が求められている。このような課題や需要に対応した技術として、特別な機械等を必要としない疎植栽培が適しており、地域に合わせた栽植密度、施肥量等が確立されれば、普及が期待される技術である。 全国的には、直播栽培や疎植栽培を推進しており、神奈川県においても移植栽培との組み合わせによって、地域性を活かしながら取り組むことにより、水稲栽培の維持向上を担い手対策も含めた中で進めていくことができる。 さらに、病害の発生抑制につながる疎植栽培の特徴を活かし、エコファーマーや特別栽培に取り組む水稲生産者に対する販売戦略も立てることができる。 神奈川県においては、平成27年度から水稲奨励品種として「はるみ」の栽培を推進しており、これからの栽培拡大に向け、品種特性を活かした栽培体系に疎植栽培を加えて、推進を図っていきたい。 そこで、「はるみ」の疎植栽培に関する栽培技術の知見がないことから、技術マニュアルを作成するために栽培技術を確立していただきたい。 対象地域 県下全域 水稲栽培面積 3,130ha 疎植栽培面積（平成27年度 約9ha 37株/植）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 作物の高品質・安定生産技術の開発 水稲の高品質・安定生産技術の開発			
対応の内容等 「はるみ」の技術マニュアル作成に向け、栽培体系を確立するための試験を実施中です。その一環として、疎植栽培による収量性、玄米外観品質及び食味への影響などについて検討する試験に取り組みます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			